

令7 中学校・高等学校国語（8枚のうち1）

（解答はすべて、解答题紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。）

一 次の文章は、山田あすか『ケアする建築』の一部である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。（本文には一部表記を改めたところ及び省略したところがある。）

著作権保護の観点から、本文を掲載いたしません。

令7 中学校・高等学校国語(8枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。)

著作権保護の観点から、本文を掲載いたしません。

(注) ※1 主理論——地域の施設には運営者である主が存在し、主が内外で築いている関係が、その施設がどれだけ外部の人に開かれているかに関わるという考え。

(山田あすか『ケアする建築』)

※2 住み開き——住居の本来の用途や機能を保ちながら、その一部を限定的に他者へと開放すること。

問一 傍線部①、⑤、⑦、⑧、⑨の片仮名は漢字に、漢字は平仮名に書き改めなさい。

問二 傍線部②「顕在」の対義語を、漢字で書きなさい。

問三 傍線部③「親和性」の意味として最も適切なものを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 広がりやすい性質 イ 長続きしやすい性質 ウ 伝わりやすい性質

エ 表出されやすい性質 オ 結びつきやすい性質

問四 傍線部④を説明した次の文の空欄Aに入ることばを七字で、空欄Bに入ることばを二字で、本文中からそれぞれ抜き出して書きなさい。

人々の関係性や活動ありきではなく、**A**がまずあり、そこを人々が**B**することによって生まれるコミュニティ。

問五 傍線部⑥の具体例として最も適切なものを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア カウンセラーが常駐している施設で、利用者がいつでもカウンセリングを受けられる状態を整えておく。

イ 自習スペースが用意されていることで、児童や学生、大人がそれぞれ誰にも干渉されず学習することができる。

ウ 駅の待合室でたまたま居合わせた中学生と高齢者が挨拶を交わしたことがきっかけで、顔なじみになり、親しい間柄となる。

エ 図書館で、読み聞かせのボランティアを続けてきた高校生が、新たに参加した小学生の相談に乗ってから、毎週勉強を教えている。

オ ある大学では大学になじむことができない新入生がいると、教員が声をかけて事情を聞き、保護者に学生の様子を連絡している。

問六 空欄X、Y、Zに入ることばの組合せとして適切なものを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア X 局在的自己 Y 遍在的自己 Z 遍在的自己

イ X 局在的自己 Y 遍在的自己 Z 局在的自己

ウ X 遍在的自己 Y 局在的自己 Z 局在的自己

エ X 遍在的自己 Y 局在的自己 Z 遍在的自己

オ X 遍在的自己 Y 遍在的自己 Z 局在的自己

問七 傍線部⑩を実現できる場所とはどのような場所だと本文で述べられているか。四十字以内で説明しなさい。

問八 本文で述べられている内容として最も適切なものを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 自己調整能力が弱まっている状態の時は、他者との関わりを完全に断つことができる隠れ家としての場所を与える必要がある。

イ 自分自身が選んで身につけた衣服やアクセサリ、筆記用具、車などに至る物品など自分を表出するものが自己の本質である。

ウ 居場所を作るために大前提として必要なものは、その場所が主体にとって他とは異なる場所として選択できるとのことである。

エ 自己の二領域の卵モデルを構成する「白身」は人々の関係性、「黄身」は自己の内面、「器」は場に定められた規則を表す比喩である。

オ 誰に対しても開かれる〈公〉の中でのみ「あなた」と「わたし」の境界が曖昧になり、互いに影響を受けることで自己の変容がある。

令7 中学校・高等学校国語（8枚のうち3）

（解答はすべて、解答题用紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。）

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（本文には一部表記を改めたところ及び省略したところがある。）

著作権保護の観点から、本文を掲載いたしません。

令7 中学校・高等学校国語（8枚のうち4）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。）

著作権保護の観点から、本文を掲載いたしません。

（町田その子『先を生くひと』）

（注）※1 正臣さん——滯の初恋の相手。事故で亡くなった。

※2 夫——義理の両親に説得されて離婚することになった滯の前夫。

問一 傍線部②、③、⑥、⑦、⑨の漢字は平仮名に、片仮名は漢字に書き改めなさい。

問二 空欄Aに入ることばを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 目を丸くして イ 目を盗んで ウ 目を凝らして エ 目を肥やして オ 目を細めて

問三 傍線部①に至る「加代」の心情の変化を表したものととして最も適切なものを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 冷静 ↓ 夢中になる ↓ 悲哀

イ 混乱 ↓ 正気に返る ↓ 安堵^ど

ウ 焦燥 ↓ 苦痛を感じる ↓ 驚愕^{がく}

エ 羞恥 ↓ 気が楽になる ↓ 狂喜

オ 放心 ↓ ありがたみを感じる ↓ 動揺

問四 傍線部④における加代の内面の説明として最も適切なものを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 藍生の言動について滯さんと菜摘さんが深く考えることなく笑い飛ばしている様子に、軽やかに生きる心地よさを感じている。

イ 藍生の本心を探りながら滯さんと菜摘さんが自分のことを励ましてくれているのを聞いているうちに、心が落ち着いてきている。

ウ 藍生の好意を菜摘さんに指摘されて素直に喜ぶ滯さんの姿を見て、思い悩んでいたことがばからしくなり、気持ちが軽くなっている。

エ 藍生の自分への気遣いを菜摘さんから聞かされたことで、藍生は自分のことを嫌っていないかったことに気づき、生気を取り戻している。

オ 藍生の拒否の言葉も優しいさの裏返しだと、滯さんと菜摘さんから気づかされたことで、藍生との今後の関係が明るくなると思っている。

問五 傍線部⑤とあるが、この時の「滯」の思いを説明した次の文の空欄B、Cに入ることばを二字で、本文中からそれぞれ抜き出して書きなさい。

自分自身は **B** ばかりの人生を送ってきたが、加代と菜摘には **C** を持って生きていってほしいという思い。

問六 傍線部⑧の理由を、「滯」「言葉」ということばを使って、六十字以内で書きなさい。

令7 中学校・高等学校国語(8枚のうち5)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。)

- 問七 波線部 a、e の表現に関する説明として適切でないものを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア 波線部 a は、非現実的な誇張表現を用いて、加代の切実な願いを表している。
- イ 波線部 b は、読点を多用することで、加代の息遣いを感じさせるものとなっている。
- ウ 波線部 c は、湯気越しに見るといふ視覚的な表現を用いて、この場面のあたたかな雰囲気を描写している。
- エ 波線部 d は、擬音語を用いたユーモラスな表現によって、加代が本来的には楽天的な性格であることを示している。
- オ 波線部 e は、「ツツコミ」と片仮名で表現することで、感動的な場面の中に軽やかな印象を与えている。

三 次の文章は、鎌倉時代末期、後醍醐天皇が倒幕を企てたことが発覚し、鎌倉幕府に捕らえられ六波羅に幽閉された後の場面である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

帝は未だ六波羅におはします。二月の頃、空の気色のどやかに霞み渡りて、ゆるらかに吹く春風に、軒の梅懐かしく香り来て、うぐひすの声うららかなるも、憂れはしき御心地には物憂かる音にのみ聞こし召す。異様なれど、かの上陽人の宮の内思ひよそへらる。^a長き日影もいと暮らし難き御慰めにとや聞こえ給ひけん、中宮より御琵琶奉らせ給ふついでに、^bいささかなる物の端に、^c思ひやれ塵のみ積もる四の緒に払ひもあへず掛かる涙を

げにと思しやるにいと悲しくて、玉水の流るるやうになん。御返し、

- B 掻き立てし音を断ち果てて君恋ふる涙の玉の緒とぞなりける
- かの承久の例にや、東より御使には長井の右馬助高冬といふ者なるべし。これは、頼朝の大将の時より、鎌倉に重き武士にて、未だ若けれども、かかる大事にも上せけるとぞ申しける。終に隠岐国へ移し奉るべしとて、三月の初めの七日、都を出でさせ給ふ。今はと聞こし召す心惑ひども言へば更なり。所々の嘆き、近う仕うまつりし人々の心地ども、置き所なく悲し。帝も限りなく御心悩むべし。^dいとかうしも人に見えじと、且つは思し静むれど、あやにくに進み出づる御涙を、持て隠しつとおはします。
- 旧りにし事を 思し出づるにも、立ち返り又、世を安く思さん事のいと難ければ、よろづ今を閉ぢめにこそと思し廻らすに、人やりならず、口惜しき契り加はりける前の世のみぞ、尽きせず恨めしき。
- C つひにかく沈み果つべき報あらば上なき身とはなに生まれけん

〔増鏡〕

(注) ※1 上陽人——十六歳で唐の玄宗皇帝に召されたが、楊貴妃が寵愛されていたため、六十歳まで上陽宮に閉じ込められていた女性。

※2 四の緒——琵琶の異称。

※3 承久の例——承久三年の朝廷と鎌倉幕府との戦い後、幕府が後鳥羽上皇らを遠流にした例。

問一 二重波線部 a、b について、同じ意味のものを、次のア～エからそれぞれ一つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 恐ろしくて寝もねられず。
- イ ありがたきもの、舅にほめらるる婿。
- ウ かの大納言、いづれの船にか乗らるべき。
- エ さすがに辺土の遺風忘れざるものから、殊勝におぼえらる。
- ア 京より下りし時に、
- イ はるばる来ぬる旅をしぞ思ふ。
- ウ 田舎わたらひしける人の子ども、
- エ 消えずといへども夕べを待つことなし。

問二 傍線部①、④の異名を、現代仮名遣いで書きなさい。

問三 傍線部③の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 大切な イ きれいな ウ いそいで エ ちよつとした

問四 波線部 X、Y、Z について、それぞれの敬意の対象を、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。ただし同じ符号を何度使ってもよい。

- ア 帝 イ 中宮 ウ 右馬助高冬 エ 頼朝

問五 傍線部②における帝の様子として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 都から遠く離れた場所で暮らしていても、変わらぬ春を迎えられた喜びを感じている様子。

イ 日のあたらぬ部屋に押し込められて不自由な暮らしの中、ますます不安を募らせている様子。

ウ 春になり昼間が長くなったせいで、ただでさえつらい時間をいっそう長く感じて暮らしている様子。

エ うらかな春の日が続いているのに、何をすることもなく暇を持たずあましながら暮らしている様子。

問六 A、B の和歌の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア A は帝の作で、中宮が贈ってくれた琵琶の音を聞くと思慕の情がまさり涙を誘うことを詠んでいる。

イ A は中宮の作で、弾かれなくなった琵琶の上に帝を慕う涙がとめどなくこぼれるということを詠んでいる。

ウ B は帝の作で、中宮のためであれば命が絶えてもよいと思えるほど募らせた激しい愛情を詠んでいる。

エ B は中宮の作で、かつて掻き鳴らした琵琶の音を聞かせることができなくなった悲嘆を詠んでいる。

令7 中学校・高等学校国語(8枚のうち6)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。)

問七 傍線部⑤から読み取れることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 帝は自分が嘆いてばかりいることを、周りの人には悟られないようにしようとするが、あふれ出る涙を隠すことしかできない。
- イ 帝は自分が嘆いてばかりいることを、高々ら幕府の者には見せたくないと一方、傍に仕えていた者のことを思うと涙が止まらない。
- ウ 帝は自分が嘆いてばかりいることを、世間の人はどう思うかと心を静めようとするが、意に反して流れる涙を隠すことができない。
- エ 帝は自分が嘆いてばかりいることを、誰かに見られでもしたら恥ずかしい思いをするだろうと、体面を保つため涙をこらえている。

問八 Cの和歌に込められた心情として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 処罰を受けることは致し方ないとしても、帝にまでなった自分がなぜ中宮と共に生きるという約束を果たせないのかと悔やんでいる。
- イ 帝の地位を奪われることになり、何もかも諦め覚悟を決めようと思うが、このような悩みも天皇という立場のせいだと不満に思っている。

ウ 世の安寧を望めず落ちぶれることが前世の因縁によるものならば、なぜ他でもない帝として生まれてきたのかと、自らの宿命を呪っている。

エ 世の中を太平にできなかったのは、誰のせいでもなく自分の帝としての手腕が足りなかったからだと思い、自分の不甲斐なさを責めている。

四 次の漢文を読んで、あとの問いに答えなさい。(設問の都合上、一部訓点を省略したところがある。)

鴟夷子皮事田成子。田成子去齊、走而之燕。鴟夷子皮負^{ヒテ}伝^ニ而^レ従^ヒ、至^ル望^ニ望^ニ邑^一。子皮曰、「子独^ニ不^レ聞^ク涸^レ沢^ニ之^ニ蛇^一乎。沢涸^{カレテ}蛇^ハ将^シ徙^ス。有^リ小^ニ蛇^一謂^{ヒテ}大^ニ蛇^一曰、「子行^{キテ}而^レ我^ハ随^{ハバ}之^ニ、人^ハ以^テ為^ス蛇^ニ之^ニ行^ク者^一耳^ニ。必有^ズ殺^ス子。不^レ如^カ相^ニ銜^レ負^レ我^ヲ以^テ行^ク。人^ハ以^テ我^ヲ為^ス神^ト君^一也。」乃^チ相^ニ銜^レ負^レ以^テ越^ユ公道^一。人^ハ皆^シ避^{ケテ}之^ヲ曰、「神^ト君^一也。」今^ハ子^ハ美^{ニシテ}而^レ我^ハ惡^ニ。以^テ子^ヲ為^ス我^ガ上^ト客^一、千^ニ乘^一之^ニ君^一也。以^テ子^ヲ為^ス我^ガ使^ト者^一、万^ニ乘^一之^ニ卿^一也。子^ハ不^レ如^カ為^ス我^ガ舍^ト人^一。」田^ハ成^ニ子^一因^{リテ}負^レ伝^ヲ而^レ随^フ之^ニ。至^ル逆^ニ旅^一。逆^ニ旅^一之^ニ君^一待^ツ之^ヲ甚^ダ敬^ミ、因^{リテ}献^ズ酒^ヲ肉^ヲ。

(『韓非子』)

(注) ※1 伝——関所の通行手形。 ※2 望邑——望という村。

※3 相銜——前の蛇の尾を後の蛇が口にくわえて連なること。

※4 公道——人の通る大きな道。 ※5 逆旅——旅の宿駅。

問一 二重傍線部aの「事」と同じ意味の「事」を用いた熟語を、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 仕事 イ 師事 ウ 事件 エ 事象

問二 二重傍線部b、c、dの読みを、現代仮名遣いの平仮名でそれぞれ書きなさい。

問三 傍線部①は「こたくのへびをかざるか」と訓読する。この読みになるように、解答欄に訓点を施しなさい。

問四 傍線部②を書き下し文にし、すべて平仮名で書きなさい。なお、「徙」の終止形は「徙る」である。

問五 傍線部③の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア あなたはわたしの召使いとなるのが最上です。

イ わたしがあなたの召使いをすることが一番です。

ウ わたしがあなたの召使いとなるわけにはいきません。

エ あなたがわたしの召使いとなっても問題はありませぬ。

問六 「涸沢之蛇」の話を説明した次の文の空欄A、Bに入る漢字一字をそれぞれ書きなさい。

小さな蛇は人間に殺されないよう、大きな蛇に自身を **A** わせて移動し、人間に **B** であると認識させることで、大きな蛇と共に危機を免れた。

令7 中学校・高等学校国語（8枚のうち7）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。）

問七 本文で述べられている内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 田成子は鴉夷子皮から「涸沢之蛇」の話を聞いたことで、自身の無策さに気がつき、鴉夷子皮を燕で重用することとなった。
- イ 田成子は鴉夷子皮から「涸沢之蛇」の話を聞いたことで、鴉夷子皮の企てを察知し、斉に引き返して生き永らえることとなった。
- ウ 鴉夷子皮は田成子に「涸沢之蛇」の話を伝えることで、田成子から権力を奪うことに成功し、燕で実権を握ることとなった。
- エ 鴉夷子皮は田成子に「涸沢之蛇」の話を伝えることで、田成子を説得することができ、お互い無事に斉から逃れることとなった。

五 次に示す【指導と評価の計画】は「おすすめの本を分かりやすく紹介しよう」という単元の指導と評価の計画を示したものである。『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』、『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 国語編』を踏まえて、あとの問いに答えなさい。（『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』より作成。）

【指導と評価の計画】

単元名 おすすめの本を分かりやすく紹介しよう			
単元の評価規準			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
①話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、分かりやすさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	①「 A 」において、話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	①聴衆に対する発表を通して、話し言葉の特徴を理解し、相手の理解が得られるよう、表現を粘り強く工夫する中で、 B 。	
指導と評価の計画（全5単位時間想定）			
次	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ○相手に応じて表現や言葉遣いを日常的に使い分けている例を共有し、「相手にとって分かりやすい表現」について考え、ワークシートにまとめる。 ○「おすすめの本を紹介しよう」というテーマに基づいて「プレゼンテーション計画書（構想シート）」（以下「計画書」という）を作成し、発表資料（フリップやスライド）を作成する。	[知識・技能] ①	「記述の点検」
2	○計画書を基にグループで練習し、相互評価を行う。練習の様子をICT端末で記録する。 ○相互評価の内容を交流したり、ICT端末で記録した練習の動画を見たりして、計画書を修正し、本番の発表を行う。聞き手は、表現の工夫について評価する。	[思考・判断・表現] ①	「行動の分析」
3	○振り返りシートを記入し、単元の学習で得た気づきをグループや全体で共有する。	[主体的に学習に取り組む態度] ①	「記述の分析」

問一 空欄Aには、この単元で指導する領域が入る。空欄Aに入る領域を書きなさい。

問二 空欄Bに入る内容として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 構成や展開について評価しようとしている
- イ 自ら学ぶ意欲を高めようとしている
- ウ 語感を磨き、語彙を豊かにしようとしている
- エ 自らの学習を調整しようとしている

問三 右に示した単元の指導や評価の在り方として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 第1次で、学習の見通しをもたせるため、単元の目標や進め方を確認し、評価規準について生徒に説明した。一方で、生徒が高評価を得る目的で、振り返りシートに誇張した内容を記述することを防ぐため、評価方法について説明することは控えることとした。

- イ 第1次の発表資料を点検している中で、同世代でしか通用しない略語や、地元でしか分からない表現で書かれたものが見られた。ニュースなどの動画を参考にして相手にとって分かりやすい表現を工夫するよう指導を行った。

- ウ 第3次の振り返りシートを分析していると、記入欄に記入ができていない生徒がかなりいることが分かった。年度当初に複数の教員で内容を定めた振り返りシートであるため、今年度は振り返りシートの形式を変えず、評価を行うこととした。

- エ 第3次の評価として、単元の学習で得た気づきをグループや全体で共有する学習活動の中で、発表回数記録を各自で取り報告させた。報告をもとに、発表回数が多い者は主体的に学習に取り組めたものとして、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行った。

令7 中学校・高等学校国語解答用紙 (8枚のうち8)

総計		

問一	問二	問四	問五	問七	問八
①		B A			
⑤	問三		問六		
⑦					
⑧					
⑨					

一		

問一	問二	問五	問六	問七
②		C B		
③	問三			
⑥				
⑦				
⑨				

二		

問一	問二	問三	問四	問五	問七
a	①		X		
b	④		Y		問八
			Z		問六

三		

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七
	b	不 聞 涸 沢 之 蛇 乎 。			A	
	c					B
	ち					
	d					
	りて					

四		

問一	問二	問三

五		

